

## 記録：第 376 回海外邦人安全対策連絡協議会

11 月 12 日、「第 376 回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。主な議題は、①サッカー会場でのサポータートラブル、②邦人の盗難被害など。

### 1. 冒頭

(大使館総括公使)

10 月 20 日にプラボウォ政権が発足した。政権移行はこれまでのところ比較的スムーズに行われているのではないかと思う。他方で、今月末には統一地方首長選挙があり、中東情勢は引き続き沈静化する見込みはなく、インドネシア国内にどのように跳ねてくるかは余談を許さない。政権移行が治安面に及ぼす影響を含め、引き続きフォローしていきたいと思う。

今週末は当地でサッカー・ワールドカップの試合が行われるということで、領事メールも発出しているが、足を運ばれる際は重々お気を付けいただきたい。

(大使館医務官欠席)

特段の報告事項はなし。

### 2. 邦人に関わる最近の事件・事故報告

(警備班書記官)

ひったくりや、SNS を通じた詐欺被害が特に多く発出している。旅行者や出張者のみならず、当地での生活に慣れた在留邦人の皆様にも今一度お気を付けいただくようよろしくお願いする。また、犯罪の当事者となるケースもあるため、各種犯罪に巻き込まれないように、当地の法令を遵守するようお願いする。

### 3. 各社・機関からの状況報告

(企業)

特段の報告事項はなし。

(企業)

特段の報告事項はなし。

(企業)

特段の報告事項はなし。

(企業)

特段の報告事項はなし。

(企業)

ジャカルタのスカルノハッタ国際空港における白タク被害があった。インドネシア駐在経験がある出張者が到着後に空港を出た際に、自身の名前を呼びかけられたため、

会社が手配した運転手だと思い車両に乗ってしまったところ、実際は白タクであった。空港を出発する際に担当者へ電話確認をするという社内ルールがあるため、この電話で間違いに気づき、白タクに引き返してもらえたため事なきを得たが、乗った分の料金は請求された。白タクの運転手がどこでどのように名前を特定したのかは不明であるが、荷物を待つターンテーブルなど空港内に協力者がいる可能性も考えられる。

(企業)

特段の報告事項はなし。

(企業)

特段の報告事項はなし。

(企業)

インドネシア政府等から正式な案内は受けていないものの、空港カウンターでの一時滞在ビザ購入時に手数料が課せられるようになっている。50万ルピアのビザ代金に加え、手数料は内容に応じて3,000ルピア~24,000ルピア程度で、手数料込みの領収書も発行されているようである。

(大使館領事部長)

エムボックスについて、空港でQRコードの提示を求められていないが、今もその理解でいいのか。

(企業)

現場での運用としてはその通りと認識している。チェックを行わないという通達はなく、ランダムに行っているようではある。

(企業)

特段の報告事項はなし。

(企業)

特段の報告事項はなし。

(企業)

特段の報告事項はなし。

(企業)

特段の報告事項はなし。

(企業)

特段の報告事項はなし。

(企業)

11月13日カラワンでの最低賃金交渉のデモが開始されるようなので、注意願いたい。

また、先ほど報告があったスカルノハッタ国際空港での白タク被害については、過去同事案が頻発していた。その時の手口としては、迎いのプレートの氏名から把握して声をかけるというものであった。スマホでは無い時期に同事案が頻発していたが、現在はスマホにて運転手顔写真確認等して頂くのが良いと考える。

(企業)

雨季に入り洪水が発生している。貴重なものは高いところに置くなど日頃から気を付けておくといよい。また、突風や竜巻により古くなった木が倒れるといった事案も報告が上がってきているので、事前に確認して対処しておくことも重要。また、これらに伴う停電も起きているので、改めて自家発電機などの動作確認等をされるとよい。

(JJC)

事件事故に関する特段の被害報告はなし。

新政権発足に伴い新たな政策が打ち出されてきているなかで、オムニバス法の労働にわたる部分の違憲判決が出ている関係で、原告が労働党ということで今後も議論がされていく見込みである。これに伴い、今後各地でデモが発生すると考えられるため、引き続きの情報共有体制をとっていければと考えている。

11月15日、FIFAワールドカップ26アジア最終予選（日本代表対インドネシア代表）が開催され、道路の一時的な閉鎖や渋滞も懸念されるためJJCスナヤンセンターは15時をもって臨時閉館とする。

(大使館領事部長)

前回、在留邦人の方がゴルフに行く際に旅券を持っていないために止められたと言う話があったため、大使館でも調べたが、かなり前から在留邦人の関心事項であり、どこまでやるべきか調べたところ、9年前にもJJCが入管総局の方に正式な書簡を出して照会している。インドネシアの規則上、例えば在留邦人であればITAPやITASを取得して、合法的に在留しているという証明が必要であるが、旅券の提示までは不要。一方で、出張者、短期で来ている方はそれぞれ自分の国の旅券のオリジナルを入管総局の正規の職員から求められた場合は、旅券を見せる必要がある規則になっているようだ。外出する度に旅券を持って行くというのはやり過ぎだという気がするため、これはケースバイケースであり、そもそも旅券を持っていないからといって、その場で罰金だと称して金銭を要求されることはないため、もしそのようなことを言われた場合は、どこの入管の職員なのか、名前・連絡先を聞いて、個別に大使館に相談いただくということかと思う。

(JJC)

以前イミグレ総局長にレターで確認を取ったところ、KITAS・KITAPを持っている方に関しては、必ずしも旅券を見せる必要はないと明確に仰っていただいた。ただし、その後も旅券を所持していないことで問題とされることが現場レベルでは発生したため、持っていた方が安全かと思う。原本問題に関しては、ITAS等の電子データ化が主流となっているため、これをプリントアウトしたもので問題ないのかという意見をよくいただいている。

(大使館領事部長)

いずれにしても、今は電子化されているが、ただ、合法的に自分は長期滞在しているのだと示せるような対策をしておけばいいのではないかと思う。求められたら提示する義務はあるということなので、あまり喧嘩腰でというのは得策ではないので、ひとまず先方の要望に従って提示することだと思う。

(JICA)

クレジットカードの情報詐取について。当地の専門家が、メイバンクのスタッフを語る人物から電話を受けた。その犯人はネットバンキングで不正な送金があったと伝えた。本人は送金してないと伝えたものの、犯人側からワッツアップでウェブサイトリンクが送られ、そこに、クレジットカードの情報を入力した。その後、本物のメイバンクから連絡があり、クレジットカードの不正利用が確認された。翌日、本人がメイバンクの支店に出向き、事情を説明し、現在は口座の一時的凍結をしているとのこと。

(大使館領事部長)

半年ほど前に、全く同じような被害に遭われた邦人の方がおり、大使館にも相談があった。リンクも同じだったかと。銀行員を語る者から、ワッツアップに誘導されたというケースであった。

(JETRO)

特段の報告事項はなし。

(国際交流基金)

特段の報告事項はなし。

(チカラン日本人学校)

特段の報告事項はなし。

(ジャカルタ日本人学校)

特段の報告事項はなし。

(バンドン日本人学校)

特段の報告事項はなし。

#### 4. その他

(大使館領事部長)

冒頭、高林総括公使からもあったように、いよいよ金曜日にワールドカップサッカーの予選がある。国際試合であるため、サポーター同士云々というのはあまり想像が出来ないが、ご承知のとおり、2年前の10月に東ジャワ州のマランで行われた、国内のリーグ戦ではサポーターが暴徒化し、最終的にサポーターがグランドになだれ込んで、圧死、それから窒息死により130名以上が亡くなるという、とても痛ましい事案が起きている国でもあり、国際試合だからと安心もできないため、くれぐれも観戦される方はお気を付け願いたい。

次回は12月10日(火)に開催予定。